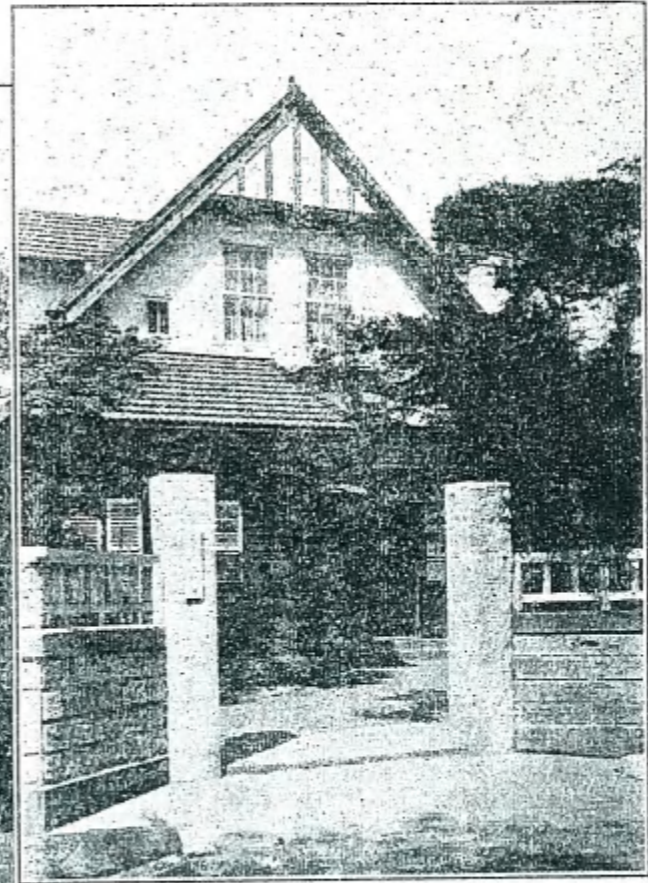


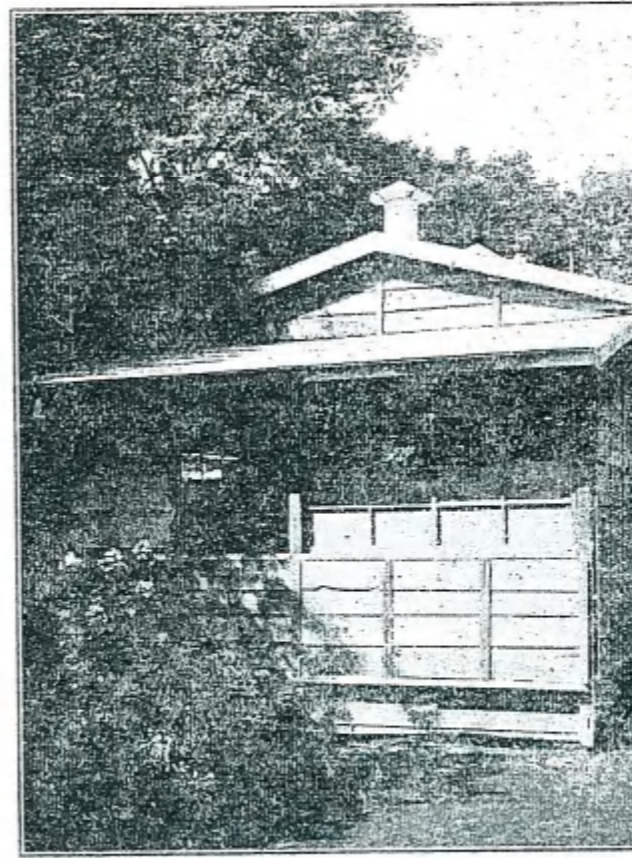
神田區小川町ニ於ケル分院

ハ四拾壹坪餘ノ二階建天然すれーと葺木造ニシテ、主ニ諸検査ノ取次事務ヲ取扱

ヒ、且診察採血等ノ設備ヲナシタリ。



所務事時臨ノ後災震



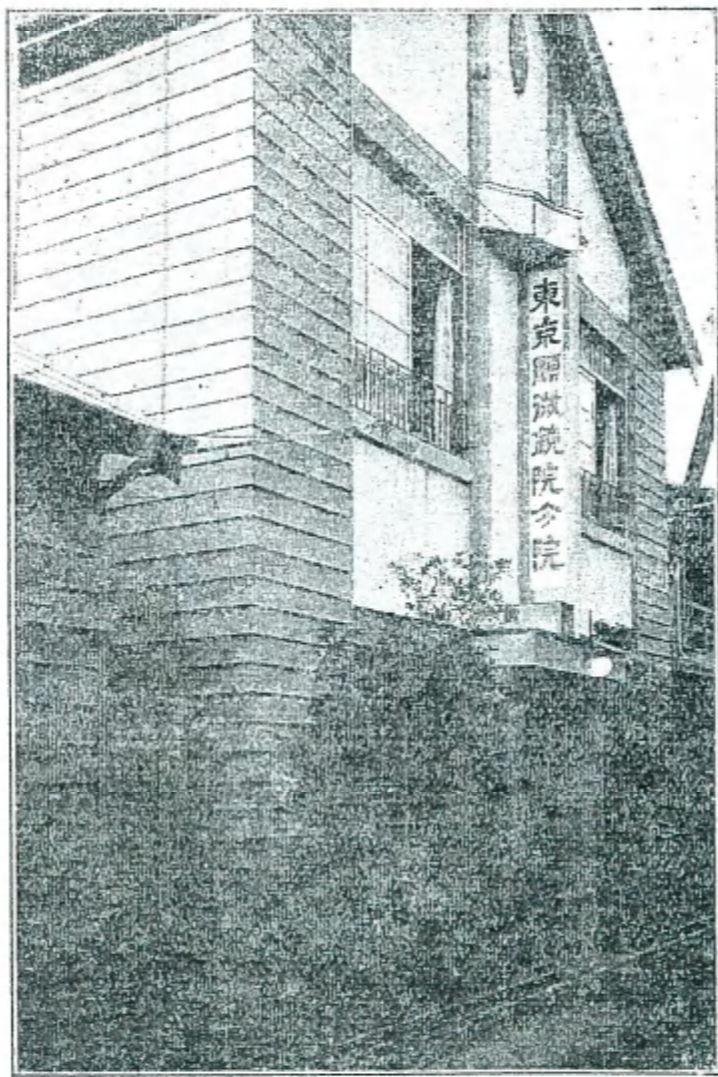
場業作時臨ノ後災震

機室、水火室等アリ、又屋上廣場ヲ有ス。

麴町三番町ニ於ケル新築本院 罹災後大正十三年六月以降築造ニ着手シ、十四年三月移轉シタル新院舎ハ技師中根蕃氏ノ設計、鈴木太郎氏ノ請負ニ係リ、出來得ル限り堪震堪火ノ構造ニ勉メ、地下室ヲ併セテ三層トナシ、延坪貳百〇七坪七合五勺、鐵筋混泥土、外もるたる塗り、窓周圍及窓間人造石塗、一部日ノ出石並たいる張、要部ニハ鐵扉ヲ備へ、窓枠及戸骨ハ鐵製ニシテ、硝子戸ハ一切鐵網入トシ、其他れんとげん室ノ壁中ニ鉛板ヲ塗込ミタル、圖書室ノ歩床ニ堪重構造ヲ施シタル、特別實驗室ハ窓戸全部ニ鐵網ヲ張テ蚊蠅ノ侵入ヲ防ギタル、階上ノ製藥室ヨリ地下室ニ達スル運荷用えれべーたーヲ設ケタル等ヲ特殊ナリトス、而テ各部室ノ配置ハ階上ニハ院長室、集談室、圖書室、れんとげん室、寫真室、第一乃至第五製藥室アリ、階下ハ事務室、實驗室、特別實驗室、患者控室、診察室、治療室、藥室、化學實驗室、應接室、宿舍、食堂、動物室ヲ有ス、地下室ニハ倉庫、寄宿室、小使部屋、冷藏室、孵化

設備中遠心機・播摩器・真空裝置・吸引裝置
其他ノ動力ニ電機ト水力ヲ應用シ、放射線裝置、醫學圖書室ヲ設ケテ實地醫家ノ利用ニ資シタリ。

尙大正十四年新築後事業ノ擴張其他ニ依リテ改増築シタルハ、南側地下室ノ製藥部増築、傳染病關係検査ニ關シ實驗室ノ一部ヲ改造、本屋裏ニ四坪ノ臨時化學室ヲ新築シタルコト等沿革ノ章ニ既述シタルガ如シ。



大正十三年八月 新築ノ分院

第五 事業及組織

本院ノ事業ハ當初綱領ニ示セル如キ八項ノ要旨ヲ實行セン爲メ學術部、診療部及社會事業部ノ三部ニ分チ、要旨ノ第一、第三、第四、第五ハ學術部ニ屬シ、第六、第七ハ診療部ニ屬シ、第二、第八ハ社會事業部ニ屬ス、現行各部ノ内容ヲ序スレバ左ノ如シ。(第三版ノモノニ多少ノ改訂アリ)

- (一) 研究科
 - (二) 短期研究科
 - (三) 臨時講習科
 - (四) 學會
- 第一課 日新醫學ノ研究及輓推

學術部

- 第二課 醫事衛生材料ノ檢定
 - (一) 普通検査
 - (二) 特約検査
 - 第三課 醫科用特種器械ノ檢定
 - (一) 顯微鏡
 - (二) 其他
 - 第四課 學術的製品ノ提供
 - (一) 黴菌顯微鏡的標本
 - (二) 寄生蟲卵標本
 - (三) 自家わくちん製造
 - (四) ブいたみんB劑—ねちうりひん、強力うりひん
 - (五) 葡萄糖其他ノ注射液
- 診療部
- 第一課 保健科
 - (一) 健康診査
 - (二) 衛生上ノ相談
 - 第二課 豫防科
 - (一) 種痘
 - (二) 狂犬病、百日咳ノ豫防注射
 - (三) 其他各種ノ豫防注射
 - 第三課 診療科
 - (一) 脚氣診療
 - (二) 呼吸器病其他ノ診療
 - (三) 放射線診療

社會部

- 第一課 衛生思想ノ普及及宣傳
- 第二課 社會事業
 - (一) 無料諸種検査
 - (二) 無料健康相談
 - (三) 無料診療

以上各課ハ年處ヲ經過シ、世態ノ推移ニ從ヒ、現今ノ制ニ至レリ、將來事業ノ發展ト共ニ課目自ラ増加スルハ固ヨリ其處ナリ。

學術部第一課ノ内研究科ハ自今研究者ノ數ヲ限リ各々ぶらつツヲ供給シ、勉メテ完全ナル研究ニ便シ、短期研究科ハ短時日ノ見學者ノ爲ニ設ケタルモノトス（規定參照）、又從來ノ講習科ニ代フルニ臨時講習或ハ講習會ヲ開始スルヲ以テ時宜ニ適スルモノトシ、之ガ實行ヲナシツ、アリ、學會ハ東京顯微鏡學會ニシテ元是本院院友會ノ進展シタルモノ、更ニ大正十四年九月ノ改正ニ依リ鏡友會ヲ合同シテ研學ト實行ヲ兼ネ行フベキ蔚然タル本院唯一ノ獎學機關トナレルニ至ル、又斯會ヨリ發行スル機關雜誌「東京顯微鏡學會雜誌」亦然リ、此ノ方針ハ將來共ニ替ラザルベシ、醫學圖書室ハ本院復興後新設シタルモノニシテ攻學ノ士ノ便ニ資セントスルニ他意ナキコト亦言フ俟タザル處ナリ。（所藏數、雜誌約百二十種、圖書約四五〇、昭和十一年末現在）

第二課中一般醫事衛生材料ノ検査ハ本院創立當時ヨリノ主要ナル事業ニ屬シ、（規定參照）特約検査ハ曩ニ淺草區有志ノ究明會、芝區ノ成蹊會、神田區ノ十七日會、白十字會等アリ、會ト本院トノ特約ニ由リ診斷材料検査ノ委託ヲ受ケ、會員ノ便宜ヲ計リ來レルモノ、大正三年一月鏡友會ヲ起シテ特約検査ノ進歩シタル形態ヲ成シタルモノ今更ニ進展シテ東京顯微鏡學會ノ一事業トナレリ。（規定參照）

第三課中曩年マデハ檢温器檢定アリテ國家的規律ナキ斯界ノ混亂ヲ糾正シテ多年貢獻シタルノ事實ハ前段事業成績ヲ見テ知ルベシ、今ヤ度器ニ關スル法律發布セラレテ其必要ヲ見ザルニ至レルヲ以テ之ヲ撤廢シタリ、其他

ノ檢定トハ消毒器等ヲ云フナリ。

第四課中ノ(一)乃至(三)科ハ説明ノ要ナシ、(四)ハ遠山前院長ガ多年研究ノ結果ニ獲タルモノニシテ、脚氣治療藥トシテ大正四年初メテ公表シ、今也大ニ世ノ認識スル所トナレルゾいたみんB劑ナリ、(五)ハ輓近要求ノ多キニ鑑ミ主トシテ學會員用トシテ頒布スル目的ニヨリ裝造セシモノナリ。診療部第三課ノ放射線科ハ實地醫家殊ニ顯微鏡學會々員ノ利便ニ供センガ爲メ大正十四年開設シタルモノナリ。

社會部ハ本院財團法人組織成立後必須ノ事業綱目タルベキコト言フ要セザルベシ。前條ノ事業ヲ遂行センガタメ役員トシテ寄附行爲ニヨリ選定セラレタル理事、監事、評議員、顧問アリ、(寄附行爲參照)職員ハ院長ノ次ニ副院長アリ、以下技術部ト事務部ニ各々主任アリ、技術部主任ノ下ニ技師、技手ノ外助手之ニ屬シ、事務部ニハ主任事務長ノ下ニ事務員、回集員、院丁アリテ之ニ屬ス、現今本院ノ幹部ハ次ノ如シ。

理事・院長	遠山正路
理事・副院長・診療部長	中本誠一
常務理事	田中武助
理事	清田政
同	遠山康
同	細野順
同	和田金藏

顧問(東京顯微鏡學會長)

醫學博士

横手千代之助

検査部囑託

醫學博士

佐藤清

検査部長

東北醫學士

遠山菊介

診療部放射線科長

醫學士

松本秀雄

化學及製藥部主任

東北藥學士

橘谷英次

検査部主任

星野英次

事務部長

澤石信三

第六 諸規定

本院ノ規定ハ種類頗ル多シ、茲ニ現行諸規定中重要ノモノヲ掲ク。

研究規定

(大正十四年九月改定)

第一條 研究生ハ本院講師ノ指導ノ下ニ研究ニ従事スルモノトス

第二條 研究生ハ員數ヲ定メズ實驗室ノ都合ニヨリ隨時許容スルモノトス

第三條 研究事項ハ講師ノ撰定又ハ本人ノ希望ニ依ル
但シ講師ノ承認ナキ任意ノ研究ヲナスコトヲ得ズ

第四條 研究期間ハ本人ノ希望ニ依リ制限ヲ置カズ
但シ三ヶ月以上タルコト